

平成28年度(第7回) 総会

谷川代表、多くの実績を残して退任



平成28年3月7日(月)、午後1時30分より、当会の平成28年度(第7回)総会を北見赤十字病院の会議室で開催しました。

谷川代表の挨拶があり、来賓でご臨席を戴いた北見赤十字病院の吉田院長が挨拶に立ちました。

『第51回日本赤十字社医学会総会におきましては、ご協力を戴き、ありがとうございました。今まで、総会は日本赤十字社以外の外部の方が入ったことがなかったもので、各地の病院の先生方(関係者)から、その経緯などを聞かれまして、自分たちの病院でもと考えられたようです。

また、2年目になる「北見での思い出づくりの集い」では、

研修医の先生方がフオークダンスと食事を通して、北見市民の方々と親しく楽しんだようです。今年も8名の研修医の先生方とのマッチングができ、3年目の「思い出づくりの集い」に仲間入りできると思います。』

と当会の活動に詳しくふれられ、高い評価を戴きました。

会員の表さんが議長席に着き、総会の議案審議に入りました。

▼平成27年度・事業報告、平成27年度会計決算報告及び会計監査報告。

阿久津事務局長が



らの事業報告の説明、阿部会計からの決算報告、表会計監

北見赤十字病院の明日を考え支援する会がスタートして6年余り。

振り返れば機関紙「オホーツクの風」発刊と研修医の皆さんとの交流会こそ誇れる活動だったように思う。いずれも新代表逢坂信治氏の発案、事務局長阿久津俊子、会計阿部孝子両氏を中心とするメンバーの支えがあっ

決意、新たに

前代表 谷川勝男

て実現した。

何事も人に始まって人で終わるの喩え通り、シニア世代が多い会員は、互いの人生体験に導かれるようにして会の活動を進めてきた。

昨年10月、当地を会場とする医学会総会に局外から参加が許されて、得がたい体験もさせてもらった。医療の内懐を垣間見ることができ

承認されました。

会長・逢坂信治(新)、副代表・谷川勝男(新)、副代表・森實和美(留)、業務局長・阿久津俊子(留)、会計・阿部孝子(留)、会計監査・表宏樹(留)、ほか会員の全てが理事に就任。

審議終了後、廣川総務課長からコメントを戴き、総会は閉会しました。

た全国の方々と交流は、今後の会の活動に皆さんの示唆を与えてくれた。

そして、この3月、新代表逢坂信治氏のもと「支援する会」は新たなスタートを切った。人生経験が豊富で斬新な企画力の新代表が会の先導役としてふさわしい。会員一同、決意も新たな「一歩」を